



南部地域
名神高速道路以南の地域をさします。



豊中市南部地域活性化構想 概要版

平成30年(2018年)1月

豊中市 政策企画部 企画調整課

〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号 電話: 06-6858-2508 FAX: 06-6858-4111

豊中市 南部地域 活性化構想

わたしたちが思い描くまち

[概要版]

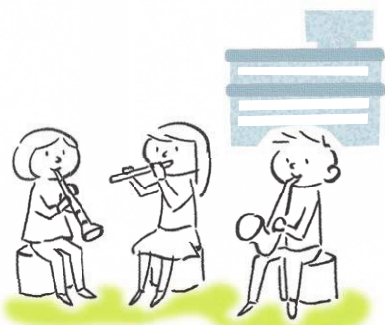


豊中市

わたしたちが思い描くまち

～市民ワークショップより～

住環境が整い、みどり
豊かなまちなみがある



音楽でまちが
にぎわっている



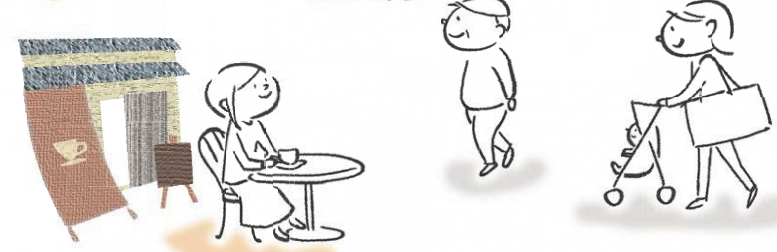
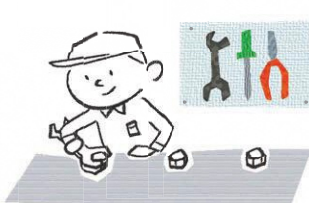
日ごろからつながりがあり
安全・安心に暮らせる



多様な人が集う
居場所がある



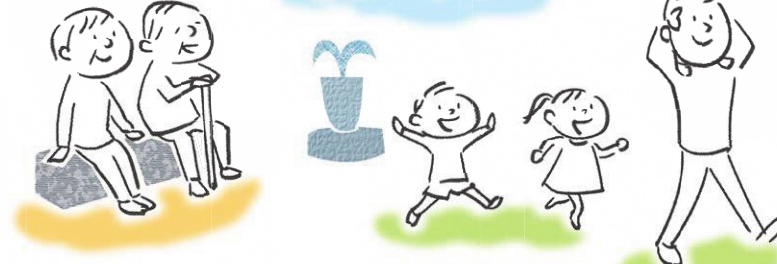
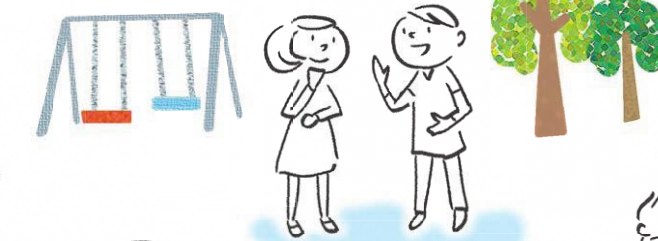
若者から子育て世代、
シニア世代まで、
活躍できる場がある



多世代が楽しみ、
ゆとりがあり、
若者や子育て
世代に選ばれる



まち全体で子どもを
見守り、安心して
子どもを育てられる



3つの柱と 6つの目標

I 子どもたちの 元気があふれる まちづくり

目標 I-1 全国のモデルとなる教育
先進地になる

目標 I-2 地域のつながりを活かし
た子育て・子育て環境を
つくる

→ p.3

II 誰もが安全に 安心して暮らせる まちづくり

目標 II-1 災害に強く、安心して暮ら
せるまちをつくる

目標 II-2 個々の力を活かし、誰もが
活躍できる環境をつくる

→ p.4

III にぎわいと ゆとりのある まちづくり

目標 III-1 界隈性を活かし、新たな
にぎわいを創出する

目標 III-2 快適でゆとりのあるまちを
つくる

→ p.5

I 子どもたちの元気があふれるまちづくり

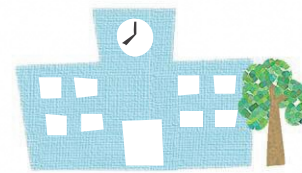


それはどんなまち？

子どもたちが、夢や希望を抱き、将来にわたり南部地域に住み続けたいと思ってもらえる魅力あるまちをめざします。

目標 I-1 全国モデルとなる教育先進地になる

子どもたちが自信をもって自分の人生を切り拓き、思考力・判断力・表現力等のこれからの時代を生きる力を育むため、先進的な教育の導入や独自の取組みを進め、全国のモデルとなる教育先進地をめざします



推進項目 1

子どもの個性や生きる力を伸ばす。

推進項目 2

「魅力ある学校」づくりを推進する。

目標 I-2 地域のつながりを活かした子育て・子育て環境をつくる

地域の人・事業者などが子ども・保護者と「顔の見える関係」となることで、安心して子育て・子育てできる環境をめざします。

推進項目 1

子どもの社会参加など子育て環境をつくる。

推進項目 2

安心して子育てできる環境をつくる。



II 誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり



それはどんなまち？

誰もがいつまでも住み慣れた地域で安全・安心に暮らし、活躍できるまちをめざします。

目標 II-1 災害に強く、安心して暮らせるまちをつくる

密集市街地の解消を進めるとともに、地域のつながりを活かし、災害に強い・防犯力が高い、安心して暮らせるまちをめざします。



推進項目 1

災害に強いまちをつくる。

推進項目 2

地域の防災力・防犯力の高いまちをつくる。



目標 II-2 個々の力を活かし、誰もが活躍できる環境をつくる

誰もが住み慣れた地域で、個々のもつ力を活かし、支えあいながら、自立して生活ができ、いつまでも心身が健康で活躍できるまちをめざします。



推進項目 1

誰もが安心して暮らせる地域福祉を実現する。

推進項目 2

多様な福祉コミュニティにより支えあう地域コミュニティを形成する。

推進項目 3

誰もがいつまでも活躍できる地域をつくる。

III にぎわいと ゆとりのあるまちづくり



それはどんなまち？

地域に暮らす人や訪れる人が快適さやゆとりを感じ、暮らしの舞台として選ばれる魅力あるまちをめざします。

目標 III-1

界限性を活かし、 新たなにぎわいを創出する

南部地域のもつ界限性や音楽、歴史・文化などの地域資源・特性を活かし、新たなにぎわいを創出することをめざします。



推進項目 1

まちの**地域資源の活用と発信**により、新たなにぎわいを創出する。

推進項目 2

事業所の集積を活かしたまちをつくる。

推進項目 3

(仮称)南部コラボセンター基本構想を推進する。

目標 III-2

快適でゆとりのあるまちをつくる

地域特性を活かした良好な景観形成を図るとともに、新旧の文化を育むことで、いつまでも住み続けたい・住んでみたいと思われるゆとりとうるおいに満ちた快適なまちをめざします。

推進項目 1

暮らしをうるおす**ゆとりのある空間**をつくる。

推進項目 2

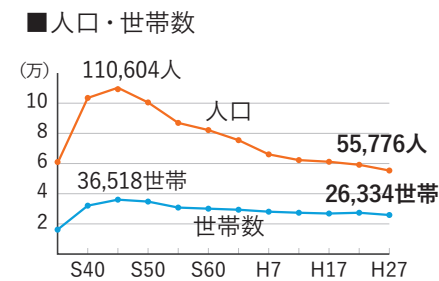
文化が息づくまちをつくる。



? なぜ「南部地域活性化構想」が必要？

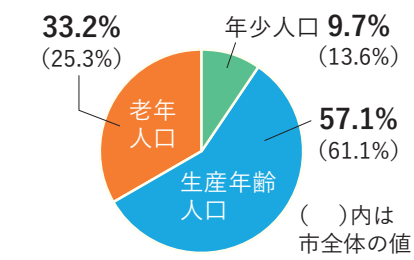
<南部地域のいま>

● 昭和45年(1970年)から人口が減りつづけています



● 少子高齢化が進んでいます

■ 年齢3区分別人口構成



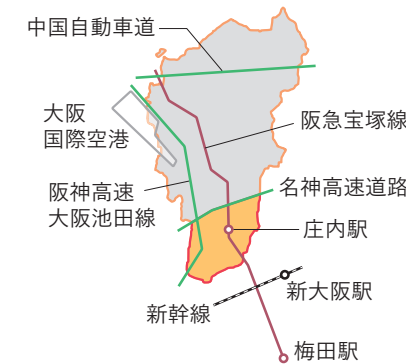
● 若い世代が魅力を感じにくい傾向にあります

■ 若い世代(18~39歳)が今後も今の地域に住み続けたいと思う割合

	思う	どちらともいえない	思わない
南部地域	43.6%	34.8%	21.6%
市全体	62.5%	25.1%	12.4%

! 南部地域にはこんな特色が!

● 立地のポテンシャルにめぐまれたまちです



● 歴史・文化が根つき、音楽のあふれるまちです



● 事業所が多く、働く人も多いまちです

事業所数	従業員数
2,767	26,648

市全体の約20%

だから、一歩進んだ考え方でまちづくりが必要です

● トータルデザインによるまちづくり

まちの魅力向上に向けて、庄内地域における「魅力ある学校」づくり計画や(仮称)南部コラボセンター基本構想の推進、都市計画道路などの基盤整備や住環境の整備、防災性の向上など「子ども」「安全・安心」「にぎわいとゆとり」を柱とする施策全体をコーディネートし、ソフト・ハード事業ともに中長期を見据えたトータルデザインによるまちづくりを進めます。

トータルデザインの推進にあたっては、民間事業者のノウハウも取り入れ公民連携で進めていくことにより、南部地域全体の活性化につなげます。

大規模な敷地を有する学校や公共施設跡地の利活用は、重要な要素となるため、幅広く市民や民間事業者からの提案を募る制度を構築するなど、その利活用方策を決定するための手順について、検討を進めます。

● 多彩な人の共演によるまちづくり

誰もが自発的にまちづくりに参加できるしくみをつくれます。また、まちに関わる多彩な人が交わり、つながることで、まちに“面白そう”や“ワクワク感”

を感じられる新たな価値を創造します。このことにより、南部地域に多くの人を惹きつけ、住みたい、活動したいと思ってもらえるまちづくりを進めます。